

# 建築研究所ニュース



平成 20 年 7 月 3 日

## 2008 年 5 月 25 日 米国アイオワ州でのトルネード被害調査を公表しました

5月25日（日）午後5時頃（米国中西部時間）に、米国アイオワ州北部においてトルネード<sup>※参考</sup>が発生し、5月30日現在アイオワ州全体で394戸の住宅が全壊、7名が死亡しました。

今回、建築研究所ではアイオワ州立大学と共同で、5月26日、27日及び30日に建築物の被害状況を、被害が最も甚大であったバトラー郡パーカースバーグにて調査し、その結果を建築研究所HPの“災害調査”に掲載しましたので、お知らせします。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/activities/other/disaster/kaze/2008iowa/index.pdf>

住宅の被害に関しては、屋根ふき材等の飛散や飛来物による外装材の被害のほか、小屋組や壁の飛散、上部構造の移動や倒壊等の構造部材の被害も多数確認されました。また住宅だけでなく、高等学校の校舎や工場のタンク施設等も甚大な被害を被っています。

### （参考）トルネードと竜巻

今回のトルネードの強さは、建築物の被害調査の結果から風速を推定する拡張藤田スケール（Enhanced Fujita Scale）でEF5（瞬間風速で毎秒89m以上）であったと推定されています。

突風の種類には竜巻やダウンバーストなどがあり、これまでの被害状況についても、同じく建築研究所HPの“災害調査”からご覧になることができます；

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/activities/other/other.html>

### （内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所  
所属 企画部国際研究協力担当参事  
氏名 飯田 直彦  
電話 029-879-0631（直通）  
E-mail [bri@kenken.go.jp](mailto:bri@kenken.go.jp)